

## 令和4年度 合唱コンクール 開会の言葉

R4.10.28

朝夕の冷え込みに、秋の深まりを感じる頃となりました。立山の紅葉は、室堂から弥陀ヶ原、美女平へと降りてきて、立山山麓の山々は、錦織りなす1年で最も美しい季節を迎えようとしています。

学校も自然と同様に、今、1年で最も美しく充実した日々を迎えています。中でも今日は、今年1年のクライマックスと言える日かもしれません。4月に出会い、一緒にクラスづくりを頑張ってきた仲間と、心を一つに作り上げてきた、手作りの大きな作品を披露しあうのですから。

「合唱づくりは学級づくり」。合唱には、そのクラスのまとまりと成長がはっきりと表れます。でも、私は心の中でこっそりこう思っているのです。「合唱のうまい・下手を競うのが合唱コンクールの本来の目的ではないのだ」と。賞は取ったけど、そのあとみんなの気持ちが荒れて問題だらけになったクラスと、賞は取れなくても、雰囲気めっちゃよくなって、ほのぼのとした優しさと思いやりで包まれたクラス。果たして、どちらのクラスの合唱が本当によかったと言えるでしょうか。

今年の合唱スローガンは「青天霹靂～合唱を一生の思い出に～」です。スローガンを初めて目にしたとき、「一生の思い出にできる合唱ってどんな合唱かな。」「どんな練習をしたら、80年間忘れないほどに残る合唱ができるのかな。」と考えました。そして、すべてのクラスが、これまでの練習を通して、共に歌った仲間の顔を一生忘れないほどの固い「絆」を結んでくれていたらいいなと思いました。

ここまで来たら、後は本番を残すのみ。賞とは関係なく、人の心に訴えかける合唱、人の心を揺さぶる合唱があります。クラスの仲間と心をつなぎ、今年最高に光り輝く姿を全校生徒・教職員・保護者の皆様に見せてください。雄中生一人一人とすべてのクラスが、一回り大きく成長する日となることを期待して、開会の言葉とします。